

「神にある良心」 —先週の講壇より—

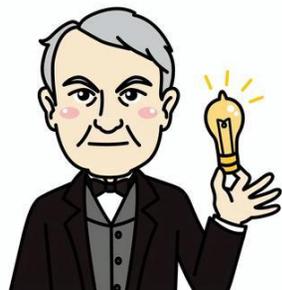
「そのために、私はいつも、神の前にも人の前にも責められることのない良心を保つように、
最善を尽くしています。」 使徒 24:16 【新改訳 2017】

今日の聖句でいうところの「良心」とは、いわゆる良い心というだけの意味ではありません。
神様の声に聴く、神様の御旨に従う、それこそが良心だと聖書は述べているのです。

信仰を持った科学者の一人に、トーマス・エジソンがいます。電球や蓄音機を発明したエジソンは、「これからの機械文明を生きるには、心を進化させる事が必要だ」と言ったそうです。まるで今の時代を見たのではないか、と思えるほどの言葉です。携帯電話スマホもコンピュータも、数十年前までは日常生活に全く存在しなかったような物です。でも今は、それが無い生活は考えられません。こういった便利な世の中であって、心の進化と問われれば、いったいどうなのでしょう。

そのエジソンは、「(信仰の) スイッチを入れなさい。聖書を読みなさい。」という言葉を残しています。本当の良心は神様にあるのだと、そういうメッセージが込められていたのでしょう。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023 年 10 月 29 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会
を建てよう。陰府の門も
これに打ち勝つことはない。
私はあなたに
天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。
礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラス
などは、現在休止しています。

